

**仙台市介護保険事業計画
策定のための実態調査報告書
(速報版)**

【要介護者等調査】

令和5年3月

仙台市

調査の実施概要

1 調査目的

仙台市介護保険事業計画策定のための実態調査（要介護者等調査）は、第9期仙台市介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～8年度）の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状を把握することを目的として実施した。

2 調査設計

調査対象者	令和4年8月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている約50,000人から無作為抽出した方	5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送する郵送方式にて実施	
調査基準日	令和4年10月1日	
調査期間	令和4年10月7日～令和4年10月31日	
調査票の設問内容	1	調査対象者の属性
	2	在宅で暮らしていくために必要なことについて
	3	介護保険について
	4	介護保険料について
	5	在宅サービスの利用状況と満足度について
	6	在宅サービスの利用限度額について
	7	在宅サービスの今後の利用意向について
	8	在宅サービスを利用していない方について
	9	介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について
	10	安否確認について
	11	今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について
	12	施設入所者の状況と満足度について
	13	介護サービスに不満があった場合の対応について
	14	介護サービスの利用者負担について
	15	仙台市への意見・要望について（自由記述）
	16	介護者について

※調査票は、在宅生活者用の調査票と、回答する設問のみを抜粋した施設入所者用の調査票の2種類で実施。

3 調査の回答状況

調査票区分	配布数	有効回収数	有効回収率	集計対象数※	集計対象率
介護保険事業計画策定のための実態調査	5,000 人	2,646 人	52.9%	2,528 人	50.6%
介護保険事業計画策定のための実態調査(在宅生活者用)	4,800 人	2,482 人	51.7%	2,408 人	50.2%
介護保険事業計画策定のための実態調査(施設入所者用)	200 人	164 人	82.0%	120 人	60.0%

※有効回収数から、「死亡」や「仙台市外に転居」等を除いたもの。

※「障害等により回答できない」などの理由から回答不能としながらも問 1 以降の設問に回答があった 77 件については、有効回答とみなし、集計対象数に含めている。

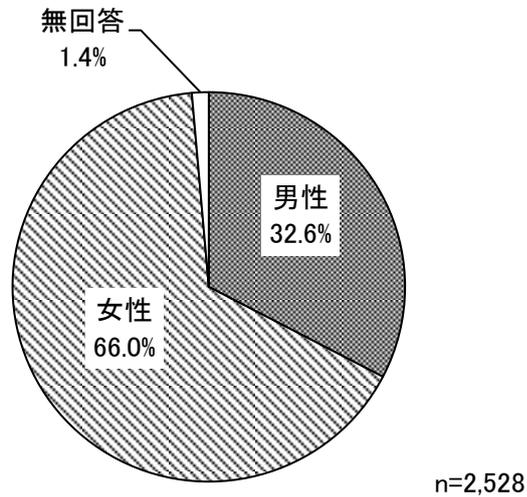
4 報告書を読む際の留意点

- ① 図表中のn (Number of cases の略) は、設問に対する回答者数のことであり、質問によって異なる場合がある。
- ② 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、単一選択式の設問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、各設問の回答数 (n) を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ③ 集計表や図では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている場合がある。

調査結果の概要

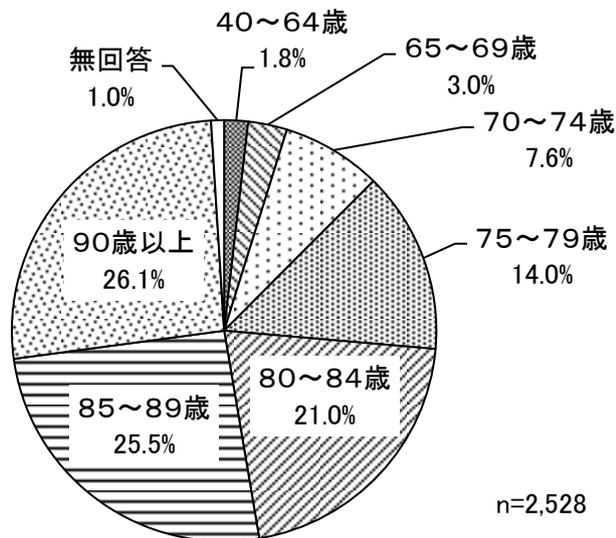
1 性別

○本人の性別は、「男性」(32.6%)、「女性」(66.0%) となっています。



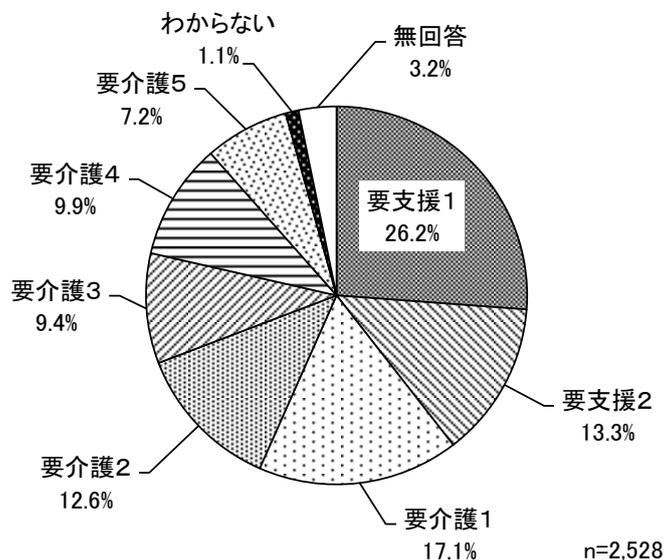
2 年齢

○本人の年齢は、「90歳以上」(26.1%) が最も多く、次いで、「85～89歳」(25.5%)、「80～84歳」(21.0%) となっており、後期高齢者(75歳以上)が86.6%を占めています。



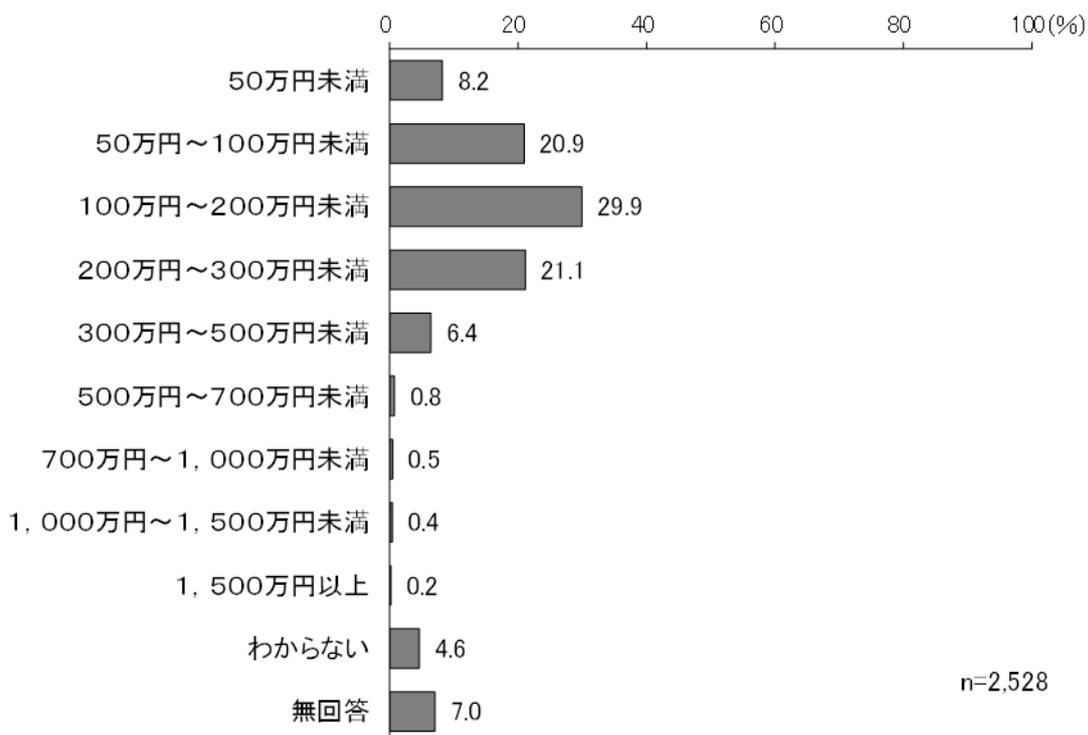
3 要介護度

○要介護・要支援度は、「要支援1」(26.2%)が最も多く、次いで、「要介護1」(17.1%)、「要支援2」(13.3%)となっています。



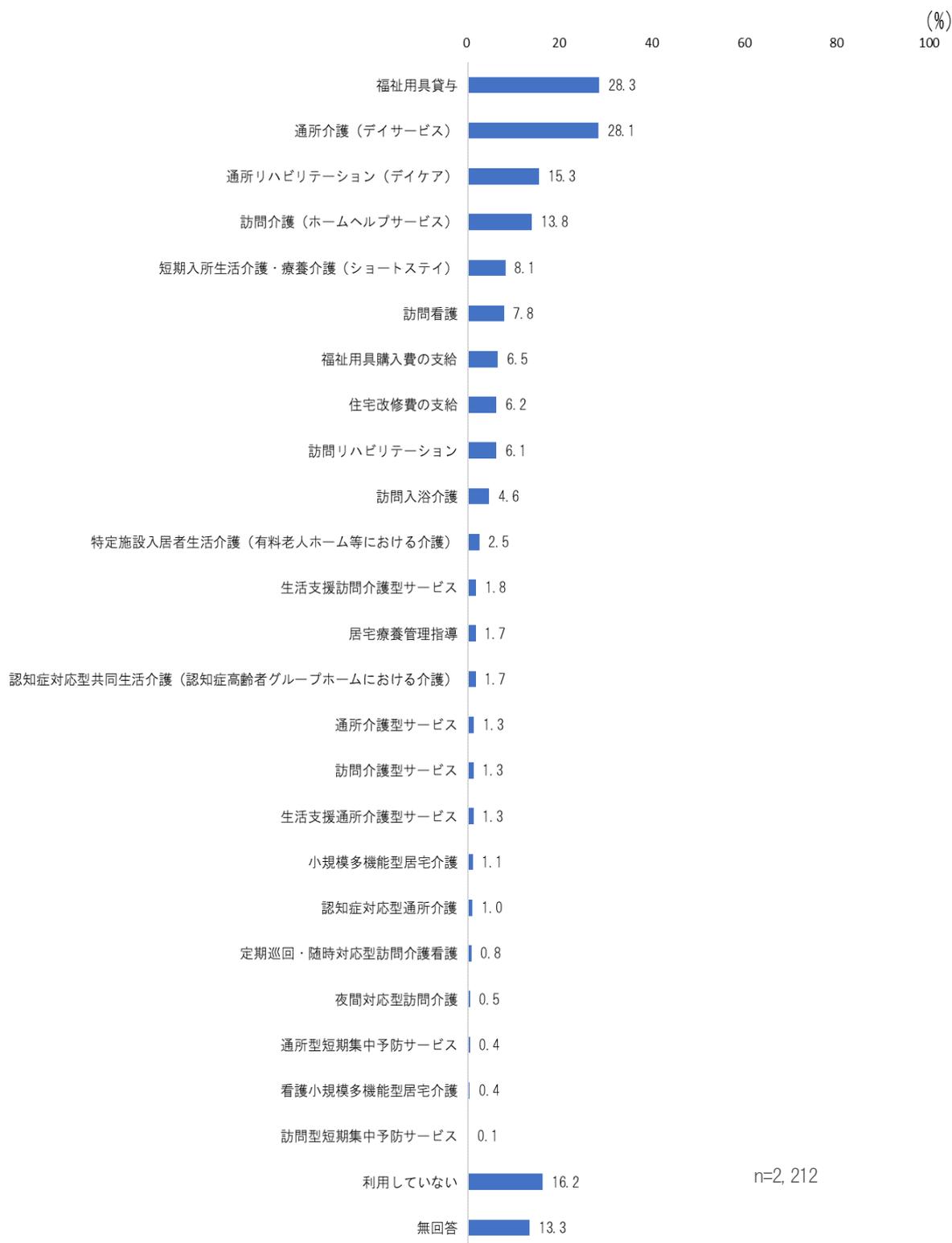
4 本人の年間総収入

○本人の年間総収入額は、「100万円～200万円未満」(29.9%)が最も多く、次いで、「200万円～300万円未満」(21.1%)、「50万円～100万円未満」(20.9%)、「50万円未満」(8.2%)となっています。



5 現在利用している在宅サービスの種類（複数回答）

○現在利用している在宅サービスの種類は、「福祉用具貸与」（28.3%）が最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」（28.1%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（15.3%）となっています。一方、「利用していない」は16.2%となっています。



《参考》

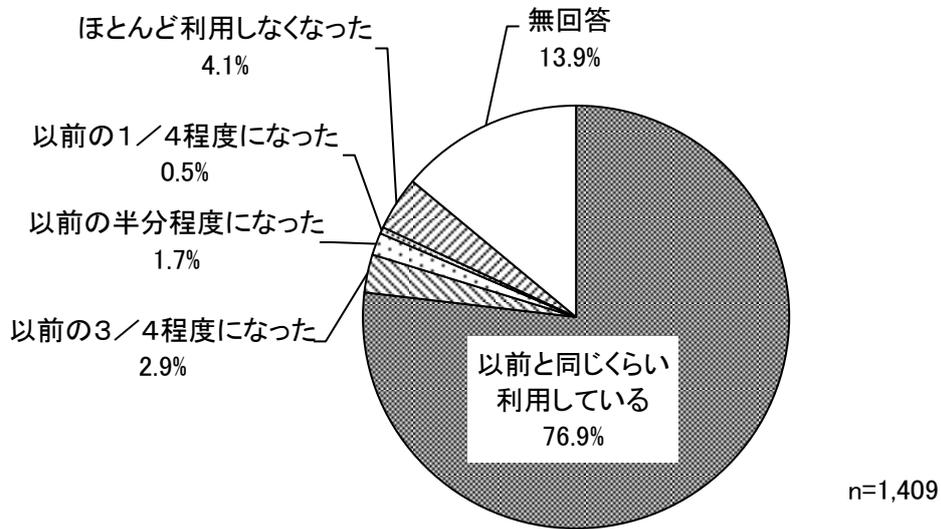
(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H28年)	(R1年)	(R4年)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	20.4	15.4	13.8
訪問入浴介護	5.1	5.5	4.6
訪問看護	6.4	8.1	7.8
訪問リハビリテーション	4.1	6.5	6.1
居宅療養管理指導	2.4	5.2	1.7
通所介護（デイサービス）	34.4	35.0	28.1
通所リハビリテーション（デイケア）	17.1	20.2	15.3
短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	11.5	15.0	8.1
特定施設入居者生活介護	1.5	1.4	2.5
夜間対応型訪問介護	0.2	0.5	0.5
認知症対応型通所介護	1.0	1.0	1.0
小規模多機能型居宅介護	1.2	2.0	1.1
認知症対応型共同生活介護	1.4	1.6	1.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.7	3.9	0.8
看護小規模多機能型居宅介護	0.3	0.7	0.4
福祉用具貸与	22.9	25.7	28.3
福祉用具購入費の支給	6.1	6.8	6.5
住宅改修費の支給	6.4	6.6	6.2
訪問介護型サービス	-	6.1	1.3
生活支援訪問介護型サービス	-	3.9	1.8
訪問型短期集中予防サービス	-	0.2	0.1
通所介護型サービス	-	11.7	1.3
生活支援通所介護型サービス	-	3.6	1.3
通所型短期集中予防サービス	-	0.9	0.4
利用していない	14.0	15.3	16.2
無回答	24.5	12.8	13.3

※前々回調査（H28年）は選択肢が一部異なる。

【新規】6 新型コロナウイルス感染症拡大による介護サービス利用回数の変化

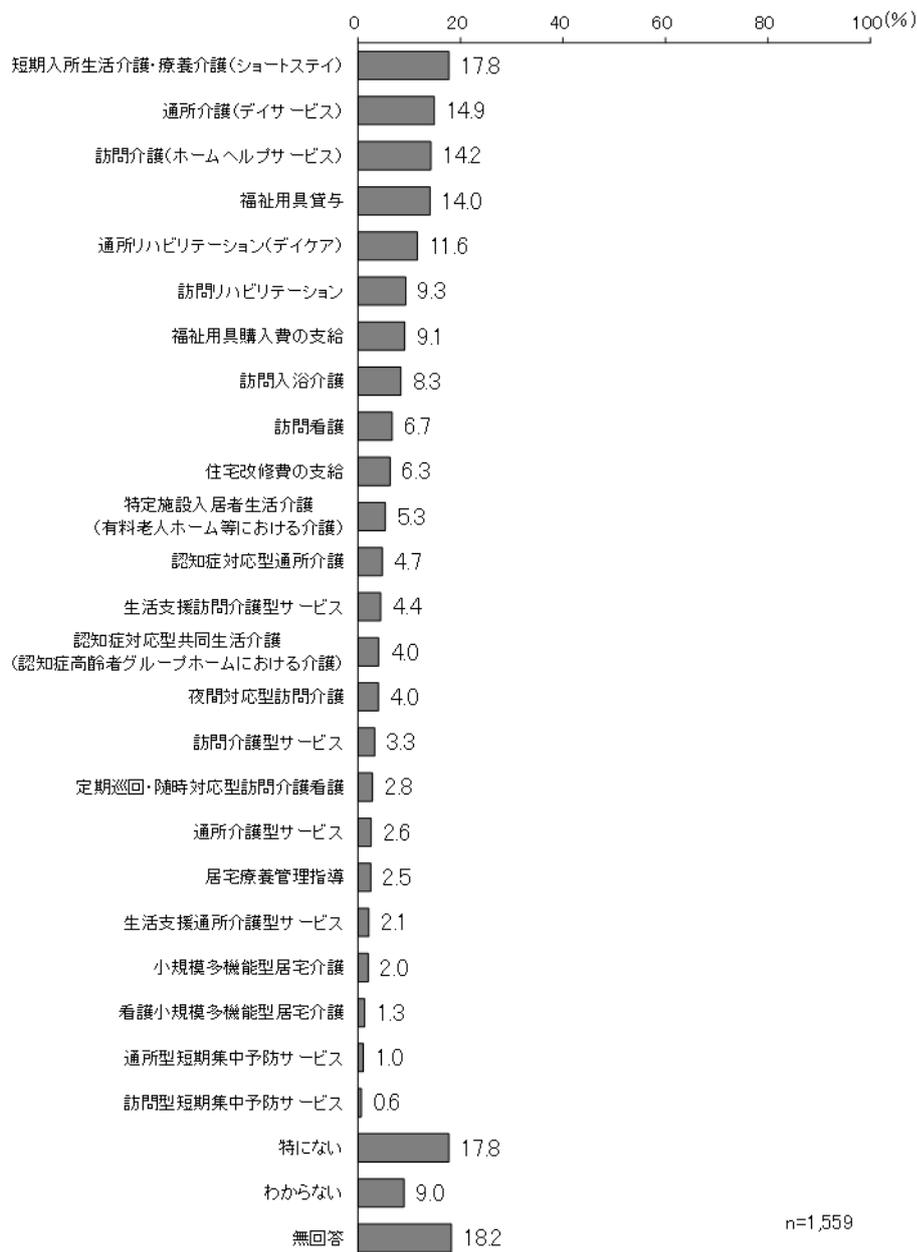
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう介護サービス利用回数の変化は、「以前と同じくらい利用している」(76.9%) が最も多くなっています。



7 在宅サービスの今後の利用意向について

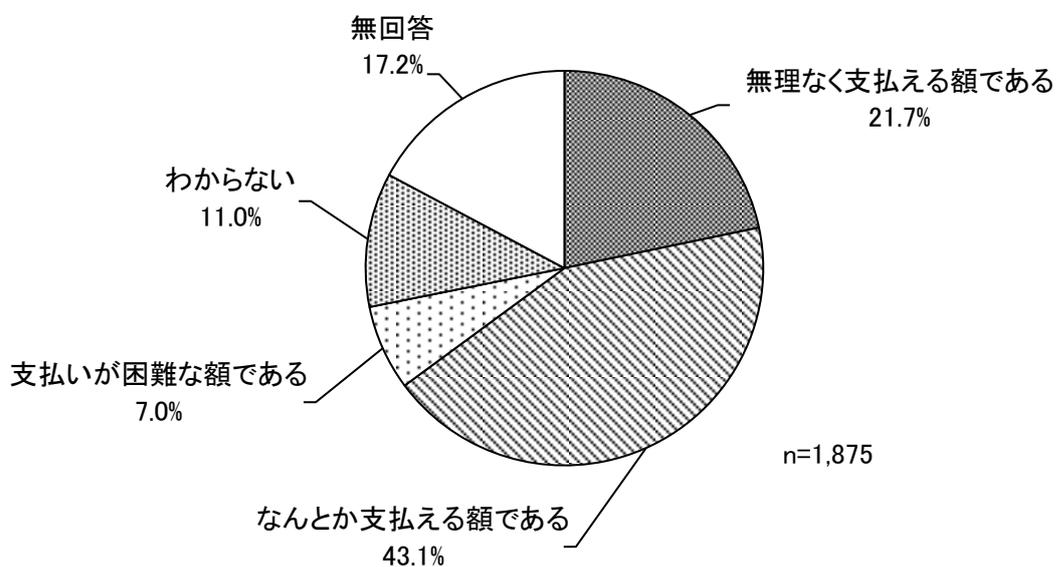
(今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービス/複数回答)

○今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスは、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」（17.8%）が最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」（14.9%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（14.2%）、「福祉用具貸与」（14.0%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（11.6%）、「訪問リハビリテーション」（9.3%）となっています。なお、「特にない」は17.8%となっています。



8 利用者負担の負担感

○利用者負担の負担感は、「なんとか支払える額である」(43.1%)と「無理なく支払える額である」(21.7%)を合わせた『支払える』は64.8%となっています。



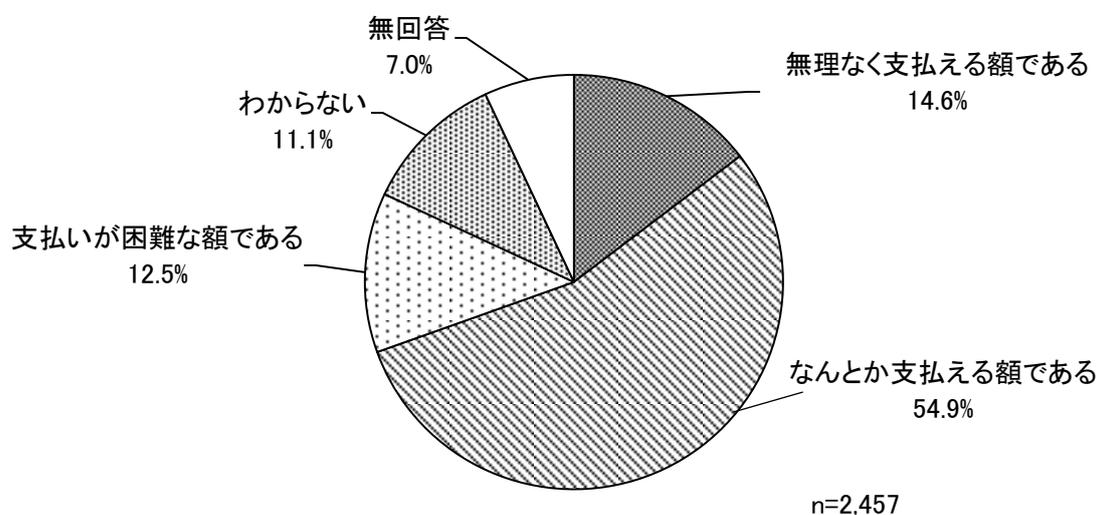
《参考》

(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H28年)	(R1年)	(R4年)
無理なく支払える額である	21.6	20.6	21.7
なんとか支払える額である	44.1	42.7	43.1
支払いが困難な額である	8.4	6.3	7.0
わからない	8.9	9.2	11.0
無回答	17.0	21.2	17.2

9 保険料の負担感

○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(54.9%)が最も多く、「無理なく支払える額である」(14.6%)を合わせると、69.5%が『支払える額』と考えています。



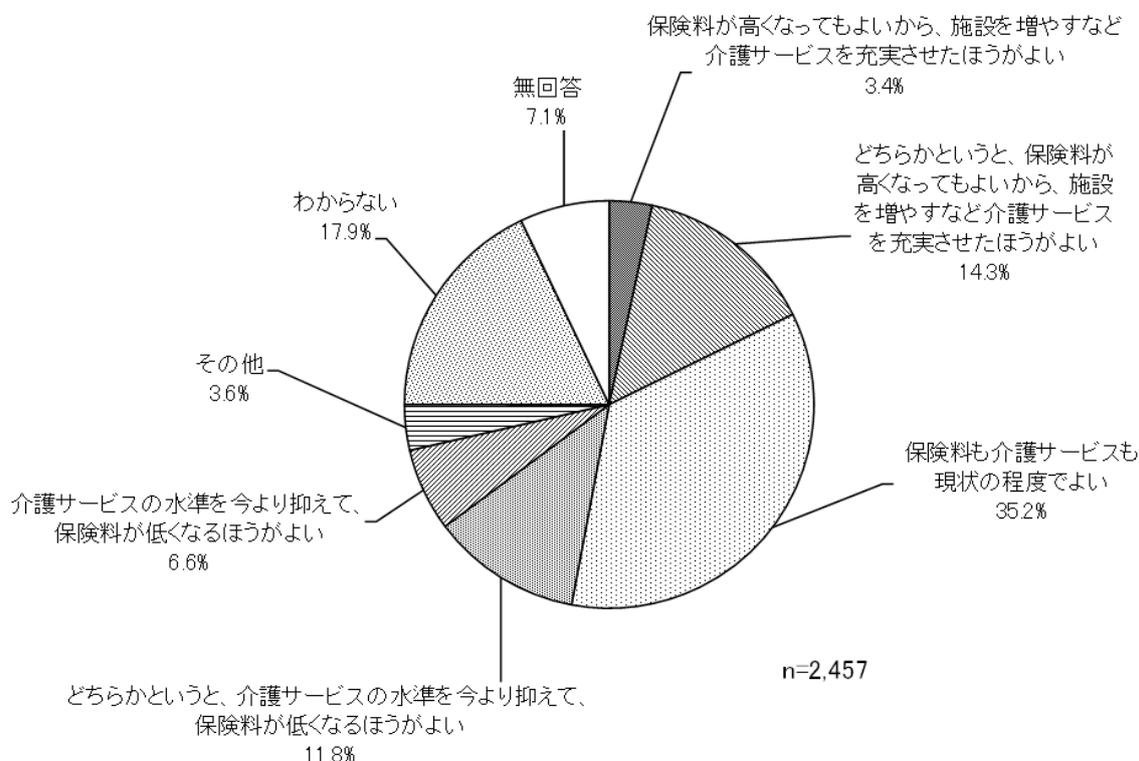
《参考》

(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H28年)	(R1年)	(R4年)
無理なく支払える額である	13.0	13.6	14.6
なんとか支払える額である	54.1	56.8	54.9
支払いが困難な額である	14.7	12.5	12.5
わからない	9.1	9.0	11.1
無回答	9.1	8.1	7.0

10 保険料と介護サービスのあり方

○保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」(35.2%)が最も多く、次いで、「どちらかというと、保険料が高くなってよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」(14.3%)、「どちらかというと、介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい」(11.8%)となっています。



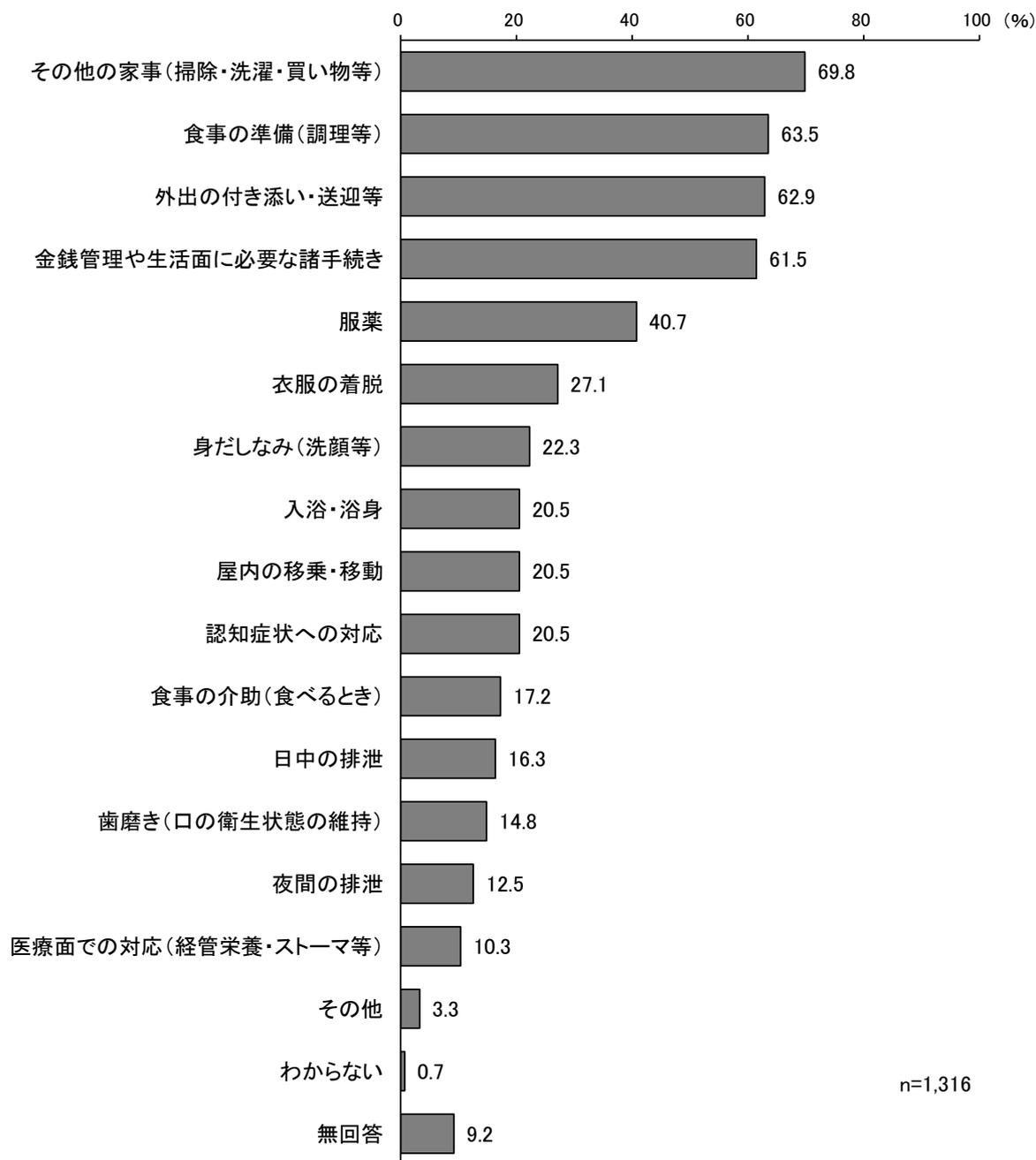
《参考》

	(%)		
	前々回調査 (H28年)	前回調査 (R1年)	今回調査 (R4年)
保険料が高くなってよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい	10.3	9.0	3.4
どちらかというと、保険料が高くなってよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい	-	-	14.3
保険料も介護サービスも現状の程度でよい	40.3	44.2	35.2
どちらかというと、介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい	-	-	11.8
介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい	16.3	16.1	6.6
その他	4.8	5.1	3.6
わからない	19.7	18.2	17.9
無回答	8.6	7.4	7.1

※前回調査 (R1年)、前々回調査 (H28年) は選択肢が一部異なる。

1.1 介護者が行っている介護（複数回答）

○現在、介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（69.8%）が最も多く、次いで、「食事の準備（調理等）」（63.5%）、「外出の付き添い、送迎等」（62.9%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（61.5%）となっています。



1 2 介護者が不安に感じる介護等（複数回答）

○現在の生活を継続するにあたって、介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」（19.7%）が最も多く、次いで、「外出の付き添い・送迎等」（15.9%）、「夜間の排泄」「食事の準備（調理等）」（ともに11.7%）、「入浴・浴身」（10.9%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（9.7%）となっています。

